

WEBシラバスの見方

ナンバリング	99ASD
講義コード	999999
授業科目名	テスト用講義
担当教員	瓜生太郎
開講期・曜日・講時	前期 月曜日 1講時
授業種別	講義
授業形式	オンライン授業
単位数	2
開講先カリキュラム	2020年度～ 映画学科 2018～2019年度 映画学科 2014～2017年度 映画学科

■ナンバリング……学修分野・レベル等に応じたナンバー（3ページ以降を参照）

■講義コード、授業科目名、担当教員、開講期・曜日・講時、単位数……「科目一覧」と同様

■授業種別……講義または演習

■授業形式……授業の形式（オンライン、対面など）

■開講先カリキュラム……この授業を開講しているカリキュラム

■テーマ……授業のテーマ

■目的と概要……授業内容の概要

■この授業で伸ばすことのできる7つの能力 / 2019年度入学生以前7つの能力……その科目で力を伸ばす7つの能力の項目

■他科目との関連……カリキュラムや専攻における位置づけや詳細な学問領域、他科目との関連

■アクティブラーニング……授業の形態

■ICTの活用……授業内でのICT活用

■履修上の注意……資格関連科目、セット履修が必要、エントリーが必要など、履修前に学生に知っておいてほしい事柄

■到達目標……科目修得で目指す、具体的な目標（〇〇できるようになる）

■評価方法……設定された「評価基準」に対する到達度を測るもの
■評価基準……到達目標に対する具体的な評価基準

■ループリック評価……授業で求められる到達目標に対して、「評価基準」と「評価観点」を具体的に示した評価ツール。到達レベルが段階的に提示されているので、自分がどの程度達成できているかを確認することができます。

テーマ	「映画をいかにして見るか？—映画リテラシー入門編」					
目的と概要	ショットやフレームといった基本概念についての講義を出発点に、映画のより分析的な見方を実践的かつ具体的に学ぶ。またそうした学習を通して、映画を分析的に論じたり、文章にしたりするための基礎を身に付け、習慣づける。また、映像の……					
この授業で伸ばすことのできる7つの能力	◎ 知識	○ 思考力		行動力		倫理観
	発想力	構想力	△	表現力		
2019年度入学生以前7つの能力						
他科目との関連	映画批評・研究をすすめていくにあたっての入門科目である					
アクティブラーニング	PBL(課題解決型学習)	反転授業	○ ディスカッション	グループワーク		
	○ プレゼンテーション	フィールドワーク				
ICTの活用	ZOOMを使用し双方向にコミュニケーションを行いながら進める授業である。					
履修上の注意	定員超過の場合は…レポートなど課題の提出については、manaBeアーカイブ機能を活用する場合もありエントリー科目。学科ガイダンスで志望履修書の提出が必要。詳細はB研究室からのメール・高原掲示板を参照。「中編制作ゼミ」「批評研究」「脚本研究」の3科目のうちから選択必修。また、各科目Ⅱはセット履修のこと。録音Bライセンス科目。前年度「映画技術●」単位修得者のみ履修可。PC必修・AdobeCC必修・HDD必須。					
到達目標	単に物語を追うだけではなく、映画ならではのさまざまな表現や技法を意識しつつ、映画を分析的に鑑賞する初歩的な能力を身につけることができる。またその分析的な視点をもえ、映画についての議論や批評文執筆の初歩的な能力を獲得できる。					
評価方法 評価基準	授業態度	コメントカード・授業内提出物	課題・成果物	期末レポート	期末筆記試験	
映画に対して、感想や好き嫌いといった主観的な要素だけでなく、客観的かつ説得力のある分析ができる		○		○		
上記の分析を文章や発言のかたちできちんと言語化(表現)できる	○	○		○		
	15 %	15 %		70 %		
	コメントカードは毎回の授業で行います。レポート試験については試験後個別にフィードバックを行います。					
ループリック評価						

WEBシラバスの見方

授業計画	回数	内容					
	1.	眼差しの考古学Ⅰ— 眼差しとは何か?					
	2.	眼差しの考古学Ⅱ—カメラは暴力装置なのか?					
	3.	眼差しの考古学Ⅲ—「私」とは誰か?					
	4.	映画と植民地主義Ⅰ—シネマトグラフと世界					
	5.	映画と植民地主義Ⅱ—映画とオリエンタリズム					
	6.	映画と「覗き」についてⅠ—ヒッチコックへの考察Ⅰ					
	7.	映画と「覗き」についてⅡ—ヒッチコックへの考察Ⅱ					
	8.	映画と「覗き」についてⅢ— ヒッチコック的なるものの変奏					
	9.	恋愛の政治学Ⅰ—『めまい』の世界					
	10.	恋愛の政治学Ⅱ—『めまい』の分析					
	11.	監視社会とは何か—『マイノリティ・レポート』の世界					
	12.	監視社会とは何か—『マイノリティ・レポート』の分析					
	13.	監視社会の歴史—見られる権力と見る権力					
	14.	監視社会の現在—現代資本主義と「監視(管理)社会」					
	15.	まとめ					
授業計画備考	コメントカードは毎回の授業で行います。 レポート試験については試験後個別にフィードバックを行います。						
事前・事後学習について	<ul style="list-style-type: none"> ・指定したり配布するなどの資料や参考図書などの文献の読み込み(各回所要時間:2時間) ・授業で部分的に扱うなどした映画作品を全編鑑賞し、映画鑑賞ノートを作成するなどし、授業の理解度を深め、文章力を高めること(各回所要時間:4時間) ・映画鑑賞ノートについて途中回で提出を求める。その翌週の講義時に全体に対するフィードバックを行う 						
テキスト・参考書について	授業時に適宜指定したり、資料配布などをする						
テキスト	番号	書籍名	著者	出版社	出版年	金額	教科書販売場所
	1.	『映画理論講義』	ジョーモン他	勁草書房	2000年	1,890円	学内販売
2.	『ハリウッド100年史講義』	北野圭介	平凡社	2001年	1,890円	Amazon	
参考図書	番号	書籍名	著者	出版社	出版年		
	1.	『映画理論講義』	ジョーモン他	勁草書房	2000年		
2.	『ハリウッド100年史講義』	北野圭介	平凡社	2001年			
参考URL							
参考画像							
担当教員の実務経験	メーカーの知識部門で勤務経験のある教員が、その経験を活かして特許制度の基本的な知識と手法や活用の考え方について講義する。						
オフィスアワー	授業期間内 水～金 9:00～12:00 個別に相談したい場合はメールでアポをとってください。 *****@*****.co.jp						
更新日付	2020/12/18 16:49						

■授業計画/授業計画参考……授業各回のテーマと内容

■事前・事後学習について……毎回の事前・事後学習の内容、具体的な方法、目安となる学習時間、自習にあたってのアドバイス

■テキスト・参考書について……テキストの有無、授業中に配布する資料について

■テキスト……授業内で必ず使用する購入対象のテキスト

■参考図書……事前学習する際に有効な情報源となる参考図書・文献・資料

■参考URL……授業に関連する内容の記事やホームページへのリンク
■参考画像……授業内容に関する画像、予習や復習に役立つ画像など

■担当教員の实務経験……その科目に関する担当教員の实務経験

■オフィスアワー……授業に関する質問ができる時間や連絡先、連絡手段など (manaBeログイン後画面のみに表示されます)

■更新日付……記載内容を更新した日時

〔科目ナンバリングについて〕

本学で開講する授業科目について、学修分野・レベル等に応じてナンバーを付与し、授業科目個々の学問的位置づけを示すことにより、学生の計画的な学修への一助とすること等を目的としています。学生がカリキュラム（教育課程）を体系的に理解し、学修したい分野についてどのように学修を進めていけばよいか等が明確になり、体系的な学修、計画的な学修が可能となります。

〔科目コードの構成〕

例： 00 ABC 1 L 001

	①	②	③	④	⑤
分類	開講機関	学修分野	レベル	講義／演習	通し番号
表示	数字(2)	英字(3)	数字(1)	英字(1)	数字(3)

()内は桁数

(科目ナンバリングの例)

80 THK 2 L 005 → ①芸術教養センター／②思考力／③学部基礎科目／④講義

※芸術教養センターが開講する、思考力を身につける科目で、学士課程における基礎的なレベルの講義科目。

①開講機関

コード	開講機関
01	大学院博士課程
02	大学院修士課程
20	美術工芸学科
21	マンガ学科
22	キャラクターデザイン学科
23	情報デザイン学科（イラストレーション・ヴィジュアルコミュニケーションデザイン）
33	情報デザイン学科（クロステックデザイン）
24	プロダクトデザイン学科
25	空間演出デザイン学科
26	環境デザイン学科
27	映画学科
28	舞台芸術学科
29	文芸表現学科
30	アートプロデュース学科
31	こども芸術学科
32	歴史遺産学科
80	芸術教養センター
81	資格支援センター

②学修分野：各学科にて策定するディプロマ・ポリシーの再表現に対応する科目分類

③：科目レベル：カリキュラムツリーに則った学習段階を示す。

コード	科目レベル	対象科目
1	学部入門科目	学士課程における入門的科目群（第 1 セメスター）
2	学部基礎科目	学士課程における基礎的科目群（第 2~4 セメスター）
3	学部応用・発展科目	学士課程における応用・発展的科目群（第 5~8 セメスター）
4	大学院修士基礎	大学院修士課程 1 年次科目
5	大学院修士発展	大学院修士課程 2 年次科目
6	大学院博士	大学院博士課程科目

④授業形態

コード	授業形態
L	講義
S	演習

⑤：通し番号：上記 6 桁目までが同一の場合に一意性を保つための連番